

情 報 公 開 文 書

研究の名称	血液疾患患者における SARS-CoV-2 モノクローナル抗体（エヴァシエルド）の効果に関する検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人富山大学附属病院血液内科
研究責任者	佐藤 勉
研究の概要	<p>【研究対象者】 本研究の対象となるのは、2022年9月～2023年9月までの間に富山大学附属病院血液内科でエヴァシエルドが投与された血液疾患の患者さんです。</p> <p>【研究の目的・意義】 COVID-19の発症を抑制する目的で、血液疾患の患者さんに抗 SARS-CoV-2 モノクローナル抗体（エヴァシエルド）が投与されることがあります。様々な変異株に対する効果は確認されていますが、現在流行しているオミクロン株の亜系統 XBB に対する効果は不明です。本研究はこの解析を目的としており、効果が明らかになると、現在もエヴァシエルド投与は有意義であると言えます。</p> <p>【研究の方法】 カルテから得られる患者情報や、血液検査の既存試料を研究に用います。具体的な項目は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年齢、性別、病歴、血液・骨髄・リンパ節検査のデータ、投薬内容、COVID-19 発症、予後などカルテから得られる患者情報 ● 血液検査の残余検体を用いた検討、すなわち患者血清の SARS-CoV-2（オミクロン株亜系統 XBB を含む）に対する中和活性の測定 <p>【研究期間】 2023年11月02日～2027年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 今回の研究成果は学会や学術雑誌で発表される予定ですが、その内容に患者さん個人を特定できる情報は含みません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 （他機関への提供の有無）	上記【研究の方法】に記載の項目をカルテから抽出します。また、血液検査の残余検体を用います。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 血液内科 佐藤 勉
研究対象者、親族等関係者からの相談等への	研究対象者からの除外を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話：076-434-7232

対応窓口

FAX : 076-434-5106

E-mail : tsutomus@med.u-toyama.ac.jp

担当者所属・氏名 : 富山大学附属病院 血液内科 佐藤 勉